
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2016年第20週
(5月16日～5月22日)

* 2016年5月25日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成28(2016)年5月26日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2016年20週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	83	40	80	79	1,368	395	8,638
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ							1
	細菌性赤痢	2			1	16	1	46
	腸管出血性大腸菌感染症	3	5	1	3	41	23	309
	腸チフス					9	3	20
	パラチフス					4		8
四類	E型肝炎	1		2	1	20	8	175
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1	4		37	1	139
	エキノコックス症							4
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症		1			1		1
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 ^{*4}						1	6
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*5}						3	12
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2		2
つつが虫病						1	60	
デング熱	3	2	2	2	39	5	133	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						4	31
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		1
	マラリア					6	1	17
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
レジオネラ症	4		2	5	39	28	410	
レプトスピラ症							3	
ロッキー山紅斑熱								

2016/5/25集計

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 79件 患者51件(肺結核 33件、その他の結核 12件、肺結核及びその他の結核 6件)、無症状病原体保有者 27件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 4件、10代 2件、20代 17件、30代 7件、40代 9件、50代 7件、60代 11件、70代 10件、80代 9件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 73件、ベトナム 2件、ミャンマー 1件、中国 1件、国外(渡航先不明) 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はフレキシネル、年齢は40代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。
腸管出血性大腸菌感染症 3件 患者 2件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO25 VT型不明 1件、O121 VT2 1件、O157 VT2 1件、年齢は10代 1件、30代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は不明 3件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。
デング熱 2件 患者 2件、病型はデング出血熱 1件、デング熱 1件、血清型は不明 2件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地はインドネシア 1件、インド又はシンガポール 1件であった。
レジオネラ症 5件 病型は肺炎型 3件、ポンティアック熱型 2件、年齢は60代 3件、70代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は水系感染 3件(温泉 2件、銭湯 1件)、不明 2件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2016年20週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	6	6	3	5	87	17	453
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）			4		20	4	91
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	3	5	75	17	502
	急性脳炎 *1	1		1	4	53	8	395
	クリプトスポリジウム症							5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2				9	1	70
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				27	3	199
	後天性免疫不全症候群	11	3	8	7	180	13	533
	ジアルジア症					6		23
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1				16	2	132
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1	1	21
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	7	12	10	175	36	1,276
	水痘(入院例に限る)	1	2			17	2	104
	先天性風しん症候群							
	梅毒	26	13	49	36	628	63	1,438
	播種性クリプトコックス症					9	2	46
	破傷風	1			1	3	1	38
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							15
	風しん			1	1	10	2	43
麻しん			2		3	1	9	
薬剤耐性アシネトバクター感染症				1	1		15	

2016/5/25集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 5件 病型は腸管 4件、腸管外 1件、年齢は40代 2件、50代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、国内又は国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、経口感染 2件、不明 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 5件 患者 5件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 3件、エンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・ニューモニエ 1件、年齢は30代 1件、40代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は以前からの保菌 3件、不明 2件、90日以内の海外渡航歴は無し 5件であった。

急性脳炎 4件 病原体はムンプスウイルス 1件、病原体不明 3件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、50代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、不明 3件であった。

後天性免疫不全症候群 7件 AIDS 2件、無症候キャリア 5件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 2件、30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 6件、バングラデシュ 1件、推定感染経路は性的接触 7件(同性間 5件、異性間 2件)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 10件 血清型は検査未実施 10件、年齢は5歳未満 2件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、60代 2件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 7件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、13価3回接種済み 1件、無し 6件、不明 2件であった。80代のうち1件は死亡が確認された。

梅毒 36件 患者31件(早期顕症梅毒Ⅰ期 13件、早期顕症梅毒Ⅱ期 18件)、無症候梅毒 5件、年齢は10代 1件、20代 15件、30代 10件、40代 7件、50代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 35件、フィリピン 1件、推定感染経路は性的接触 33件(同性間 5件、異性間 21件、性別不明 7件)、不明 3件であった。

破傷風 1件 臨床診断例、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

風しん 1件 検査診断例、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症 1件 患者、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は医療器具関連感染(中心静脈カテーテル)、90日以内の海外渡航歴は無しであった。患者は死亡が確認された。

※ 第15週で報告のあった〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件は削除された。

※ 第4週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第19週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2016年20週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		17週	18週	19週	20週		
小児科	RSウイルス感染症	23 0.09	7 0.03	14 0.05	15 0.06	260	264
	咽頭結膜熱	118 0.46	98 0.38	147 0.56	134 0.52		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	718 2.80	532 2.06	694 2.66	787 3.03		
	感染性胃腸炎	1,403 5.48	1,057 4.10	1,441 5.52	1,678 6.45		
	水痘	87 0.34	86 0.33	123 0.47	90 0.35		
	手足口病	11 0.04	14 0.05	19 0.07	21 0.08		
	伝染性紅斑	52 0.20	44 0.17	54 0.21	46 0.18		
	突発性発しん	158 0.62	139 0.54	196 0.75	206 0.79		
	百日咳	1 0.00		2 0.01	2 0.01		
	ヘルパンギーナ	5 0.02	11 0.04	20 0.08	17 0.07		
	流行性耳下腺炎	123 0.48	107 0.41	144 0.55	158 0.61		
	川崎病 *1	5 0.02	6 0.02	4 0.02	3 0.01		
	不明発しん症 *1	14 0.05	12 0.05	11 0.04	22 0.08		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	581 1.42	176 0.43	99 0.24		
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	22 0.56	15 0.38	30 0.79	22 0.56		
基幹	細菌性髄膜炎 *3		2 0.08	1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎	1 0.04			3 0.12		
	マイコプラズマ肺炎	10 0.40	3 0.12	7 0.28	7 0.28		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1 0.04		1 0.04			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	9 0.36	2 0.08		4 0.16		
	インフルエンザ入院	5 0.20	4 0.16	2 0.08			
2016/5/25集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 流行性耳下腺炎、及び感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要である。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年20週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	1			26	4	1		2			
6～11か月	6	13	7	159	4	1		56		2	1
1歳	6	61	28	231	9	9	5	115		4	3
2歳	2	14	66	165	6	4	2	21		3	9
3歳		15	85	195	5	1	7	7		4	13
4歳		8	111	153	6	1	5	4		1	19
5歳		3	105	136	8		6				24
6歳		6	98	96	15	2	8	1			21
7歳		2	74	70	11		5				22
8歳		2	58	68	8		5				14
9歳		3	43	52	6	1	2				10
10～14歳		2	77	140	7					1	14
15～19歳			3	28							3
20～29歳		5	32	159	1	1	1		2	2	5
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	15	134	787	1,678	90	21	46	206	2	17	158
先週比	1	-13	93	237	-33	2	-8	10		-3	14

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1				1						
6～11か月	2	2	1								
1歳		4	4		2						
2歳		2	4					1		2	
3歳		7	22					1			
4歳			9								
5歳		1	8		2					1	
6歳		2	3		3			2		1	
7歳		1			1			1			
8歳			1								
9歳		2	2		1						
10～14歳			6		1			2			
15～19歳			7								
20～29歳		1	8								
30～39歳			11		2			1			
40～49歳			7		6						
50～59歳			4		1						
60～69歳			1					1			
70～79歳			2		2						
80歳以上								1			
合計	3	22	100		22			3	7	4	
先週比	-1	11	1		-8	-1	3		-1	4	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2016年20週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.67	0.67			0.33				
中央区	0.50		1.00	9.00				0.50			0.50
みなと	0.50	0.33	1.83	4.83	0.33			0.83		0.50	1.00
新宿区	0.25	0.50	2.63	5.25	0.13	0.13		0.38		0.13	
文京		0.50	0.75	4.25	0.50			0.25			0.50
台東		0.75	3.50	9.25	0.50			1.25		0.25	
墨田区		0.20	4.40	1.40	0.20			0.60			0.20
江東区	0.22	0.78	3.44	13.11	0.22	0.33	0.22	1.33			0.67
品川区		0.13	2.25	8.00	0.25	0.13		0.13			0.38
目黒区			2.00	5.20	0.60	0.20		1.00			0.40
大田区	0.08	0.92	3.23	9.15	0.38	0.23	0.69	1.00		0.23	0.54
世田谷		0.56	5.75	5.56	0.06	0.06	0.19	0.69			0.13
渋谷区			1.75	6.00			0.25	0.75			
中野区	0.17	1.33	2.50	7.83	0.50	0.17	0.17	2.00			0.17
杉並		0.50	2.20	6.00	0.50			0.40			
池袋		1.50	1.00	4.00				0.25		0.25	0.25
北区			1.43	5.29	0.43		0.14	0.86			0.43
荒川区	0.25	0.75	3.50	7.25	0.50	1.75		0.50			1.00
板橋区		0.44	1.78	4.33	1.11	0.11	0.11	1.00			0.11
練馬区		0.54	3.38	5.23	0.23		0.15	1.08			0.23
足立		0.62	3.85	7.62	0.38		0.31	0.31		0.08	1.23
葛飾区		0.38	1.88	6.75	0.50		0.50	0.88		0.13	0.88
江戸川		0.75	2.75	7.75	0.08	0.08	0.17	1.00		0.17	0.58
八王子市	0.09	0.45	2.27	13.55	0.64		0.36	0.45		0.09	1.36
町田市	0.13	0.13	3.38	9.88	0.38		0.25	0.88		0.13	0.63
西多摩		0.25	1.50	2.88	0.50		0.13	0.25	0.13		1.13
南多摩		0.22	2.56	5.44	0.22			1.22		0.11	0.22
多摩立川		0.14	4.00	3.86	0.07		0.29	0.79			0.93
多摩府中	0.10	0.62	2.33	4.95	0.38	0.05	0.05	0.76	0.05	0.05	1.48
多摩小平		1.00	5.73	5.73	0.53		0.20	1.33			0.67
島しょ			11.00								
東京都	0.06	0.52	3.03	6.45	0.35	0.08	0.18	0.79	0.01	0.07	0.61

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田								0.50			
中央区			0.75								
みなと		0.17	0.89								
新宿区	0.13	0.13						0.50			
文京			0.14		1.00						
台東		0.50	0.17								
墨田区		0.40	0.88				3.00	1.00			
江東区		0.22	0.07		2.00						
品川区											
目黒区											
大田区	0.08	0.15	0.35								
世田谷		0.06	0.32								
渋谷区										1.00	
中野区	0.17		0.10								
杉並		0.10	0.31								
池袋			0.14		4.00						
北区											
荒川区			0.14		1.00						
板橋区											
練馬区			0.14		1.00						
足立			0.40		2.50						
葛飾区			0.08		2.00			2.00		2.00	
江戸川			0.16		0.50						
八王子市		0.36	0.06								
町田市		0.38									
西多摩			0.36		2.00						
南多摩			0.71								
多摩立川		0.07	0.05		1.00					1.00	
多摩府中			0.48					0.67			
多摩小平		0.13	0.35								
島しょ											
東京都	0.01	0.08	0.24		0.56		0.12	0.28		0.16	

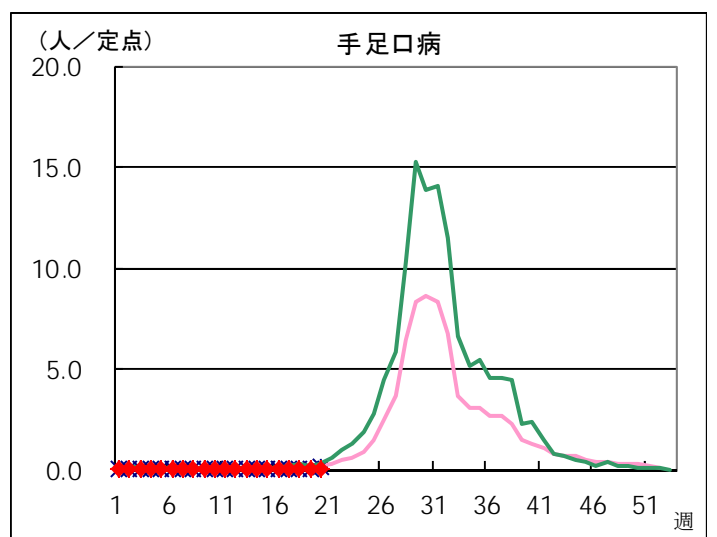
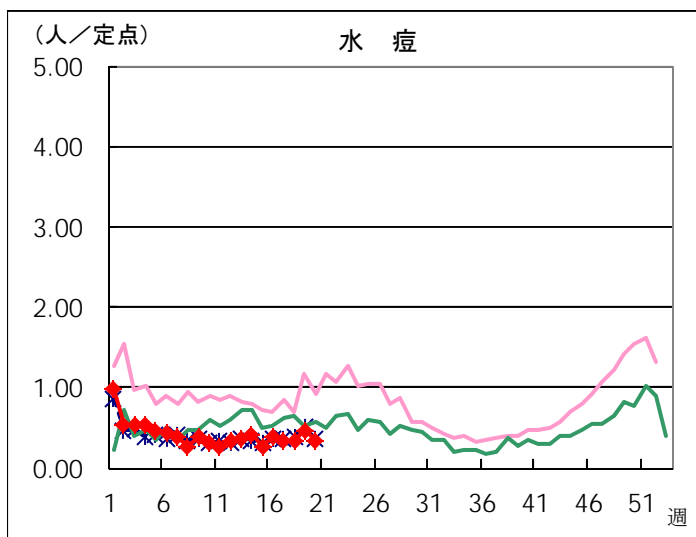
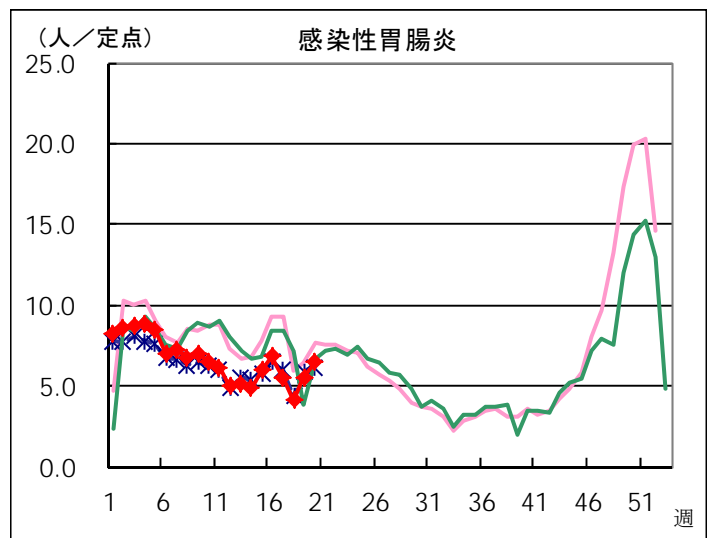
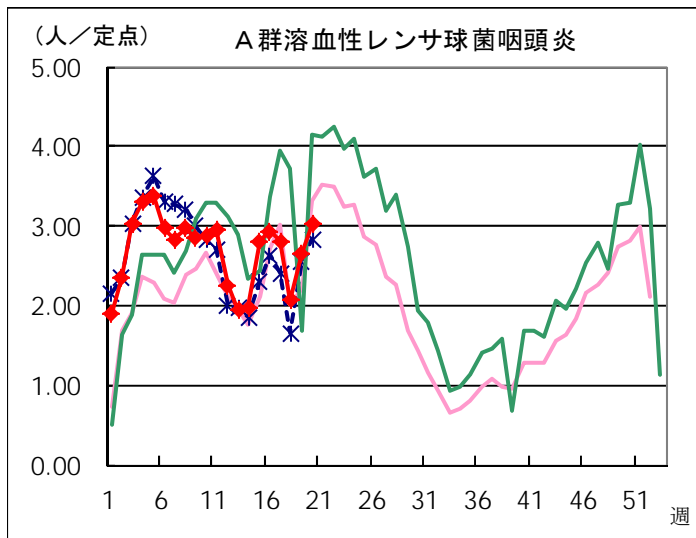
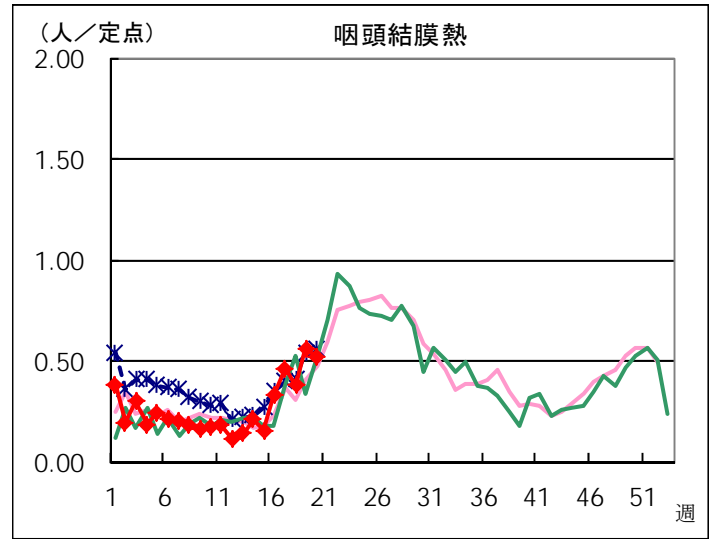
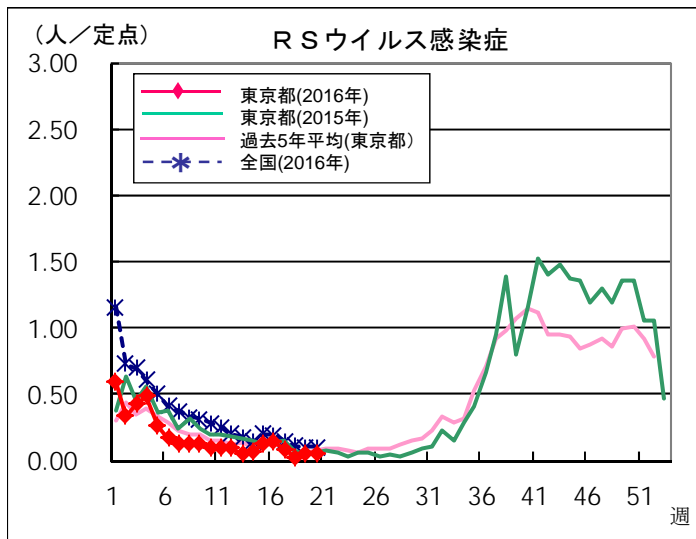
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年20週

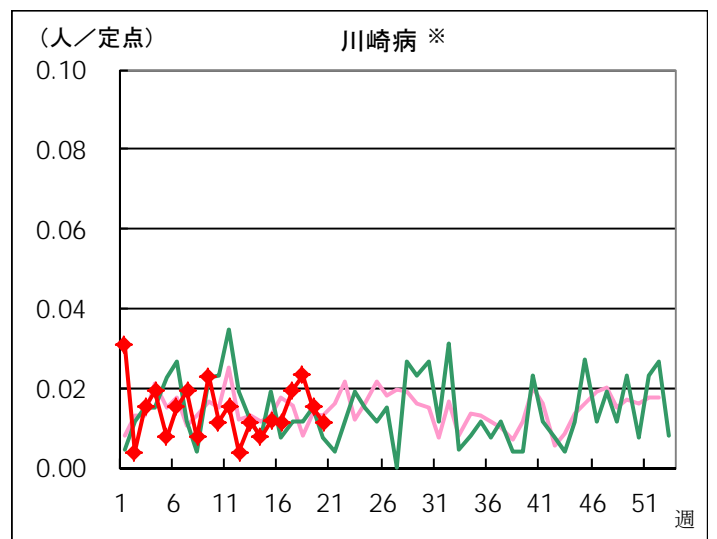
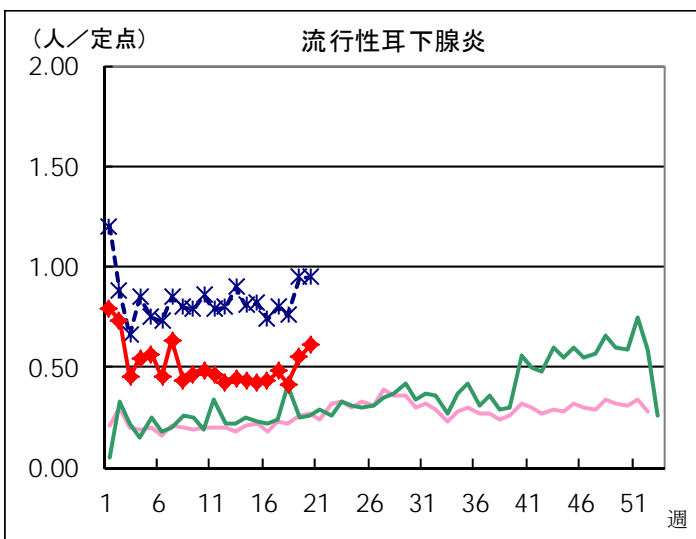
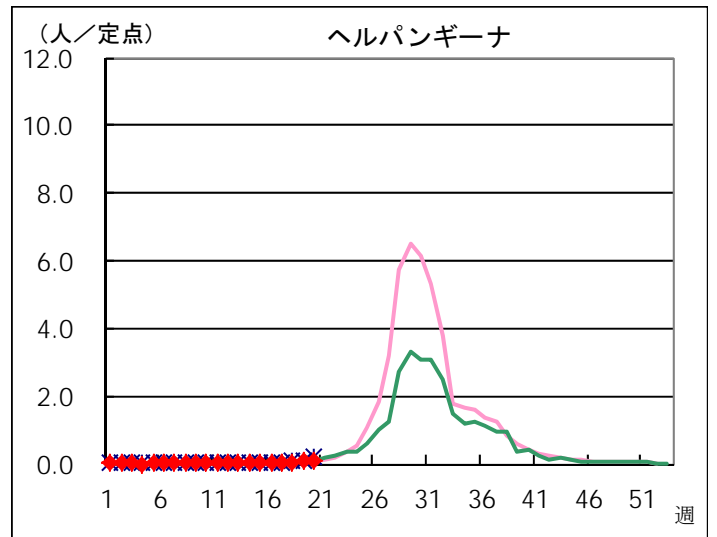
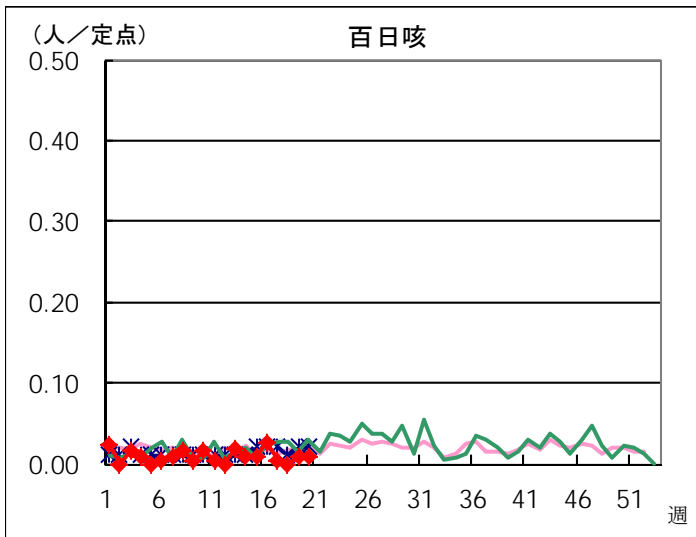
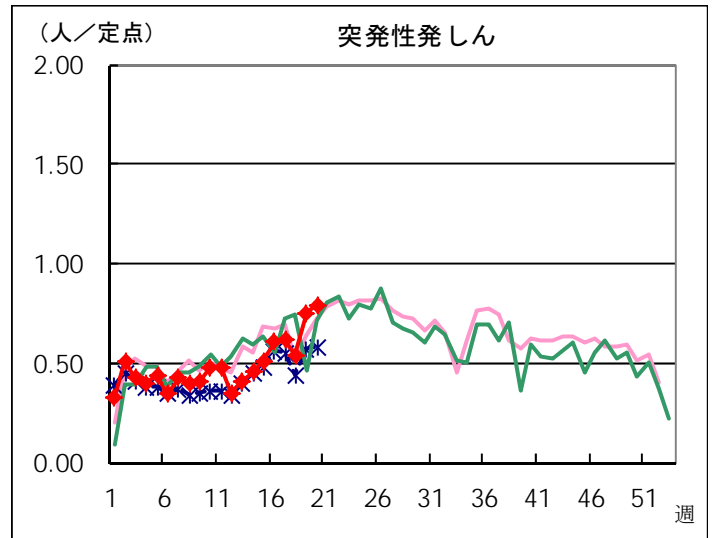
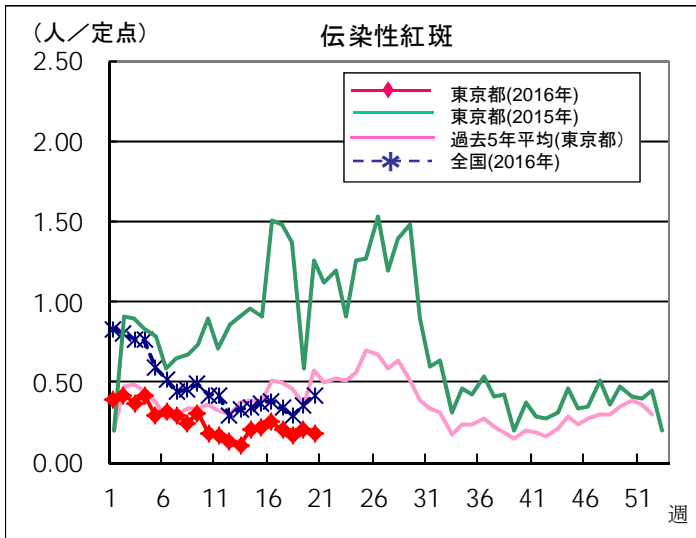
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			2	2			1				
中央区	1		2	18				1			1
みなと	3	2	11	29	2			5		3	6
新宿区	2	4	21	42	1	1		3		1	
文京		2	3	17	2			1			2
台東		3	14	37	2			5		1	
墨田区		1	22	7	1			3			1
江東区	2	7	31	118	2	3	2	12			6
品川区		1	18	64	2	1		1			3
目黒区			10	26	3	1		5			2
大田区	1	12	42	119	5	3	9	13		3	7
世田谷		9	92	89	1	1	3	11			2
渋谷区			7	24			1	3			
中野区	1	8	15	47	3	1	1	12			1
杉並		5	22	60	5			4			
池袋		6	4	16				1		1	1
北区			10	37	3		1	6			3
荒川区	1	3	14	29	2	7		2			4
板橋区		4	16	39	10	1	1	9			1
練馬区		7	44	68	3		2	14			3
足立		8	50	99	5		4	4		1	16
葛飾区		3	15	54	4		4	7		1	7
江戸川		9	33	93	1	1	2	12		2	7
八王子市	1	5	25	149	7		4	5		1	15
町田市	1	1	27	79	3		2	7		1	5
西多摩		2	12	23	4		1	2	1		9
南多摩		2	23	49	2			11		1	2
多摩立川		2	56	54	1		4	11			13
多摩府中	2	13	49	104	8	1	1	16	1	1	31
多摩小平		15	86	86	8		3	20			10
島しょ			11								
東京都合計	15	134	787	1,678	90	21	46	206	2	17	158

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田								1			
中央区			3								
みなと		1	8								
新宿区	1	1						1			
文京			1		1						
台東		2	1								
墨田区		2	7				3	1			
江東区		2	1		2						
品川区											
目黒区											
大田区	1	2	7								
世田谷		1	8								
渋谷区										1	
中野区	1		1								
杉並		1	5								
池袋			1		4						
北区											
荒川区			1		1						
板橋区											
練馬区			3		2						
足立			8		5						
葛飾区			1		2			2		2	
江戸川			3		1						
八王子市		4	1								
町田市		3									
西多摩			5		2						
南多摩			10								
多摩立川		1	1		2					1	
多摩府中			16					2			
多摩小平		2	8								
島しょ											
東京都合計	3	22	100		22		3	7		4	

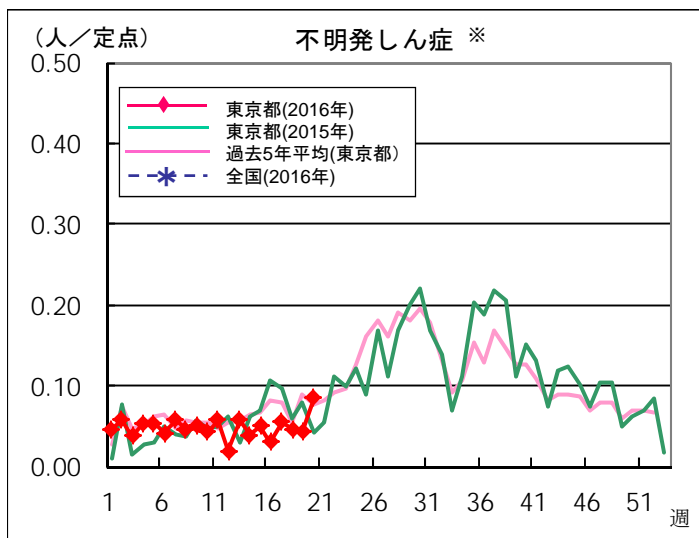
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2016年20週 現在)

◆ 小児科定点



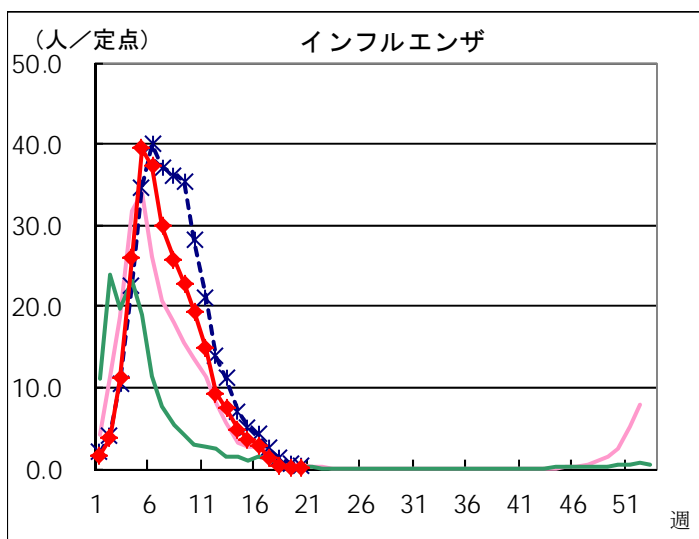


※ 東京都独自対象疾患

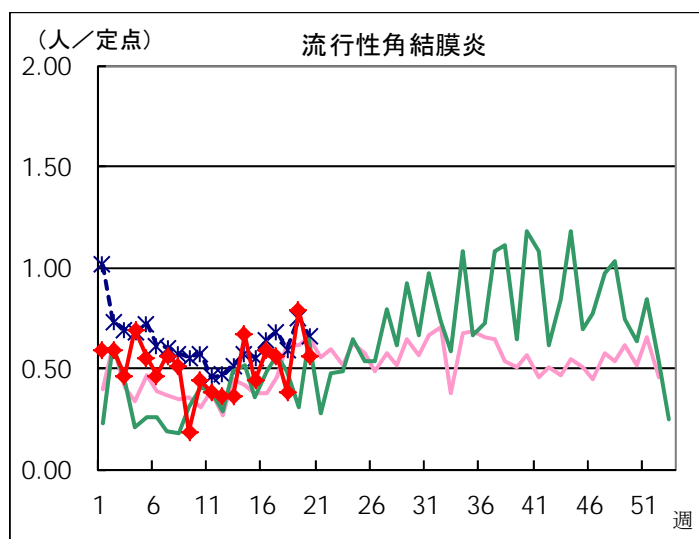
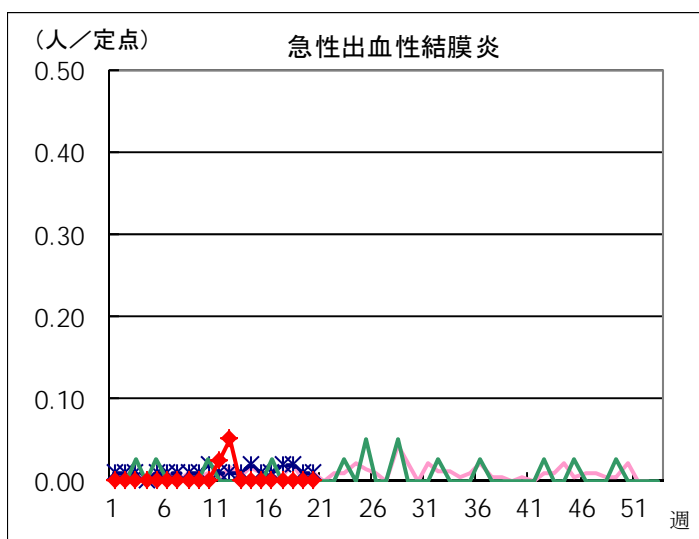


※ 東京都独自対象疾患

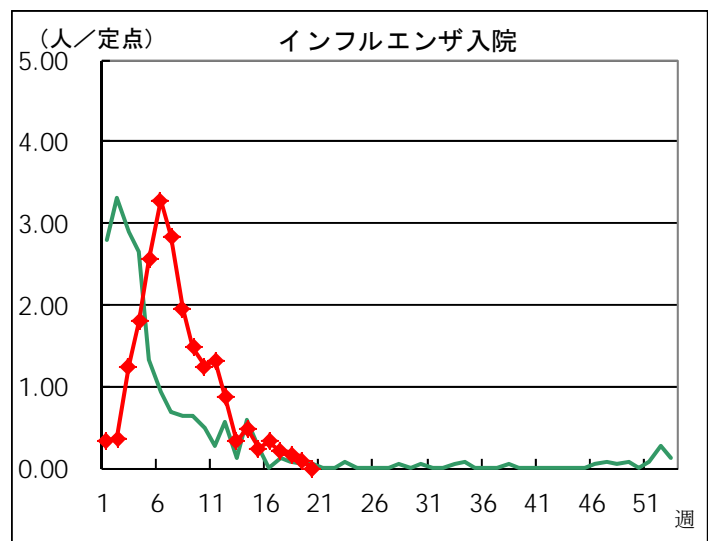
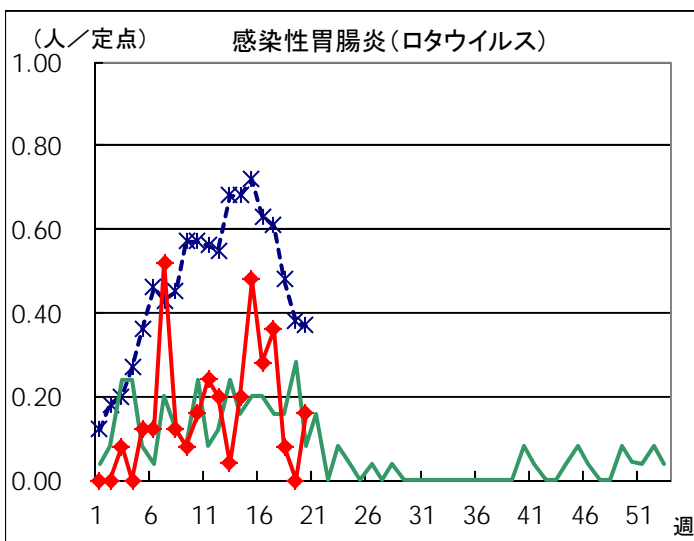
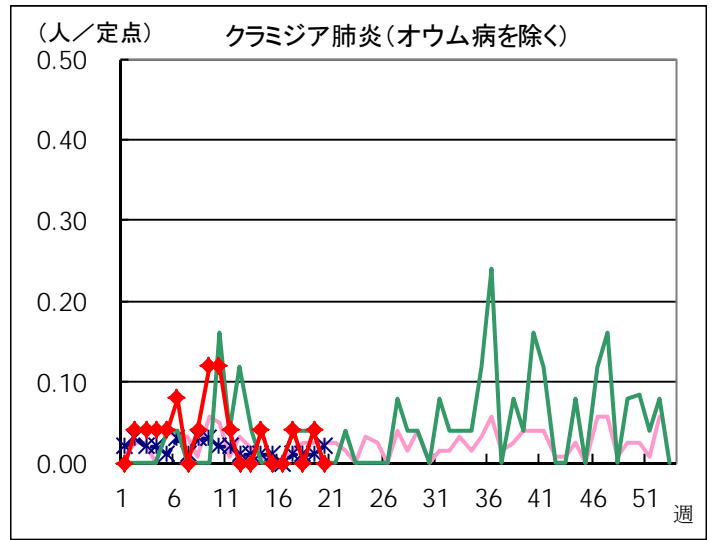
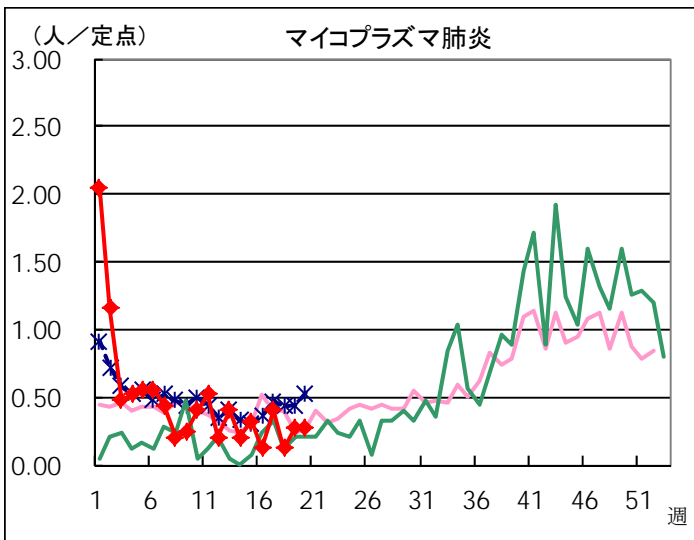
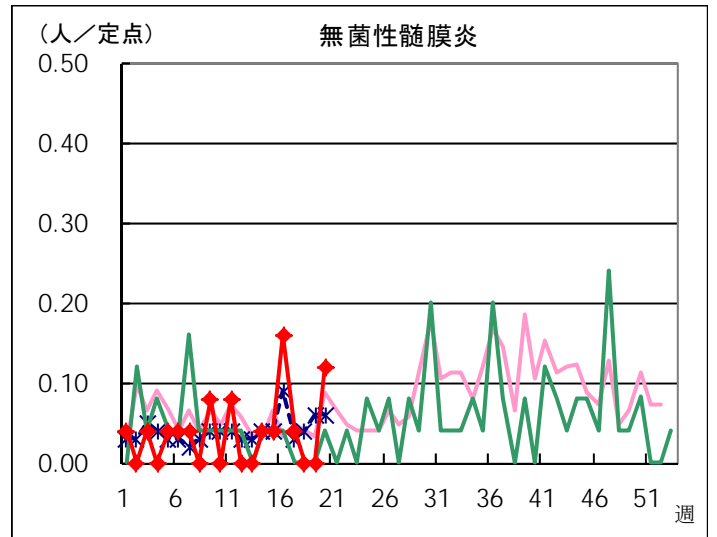
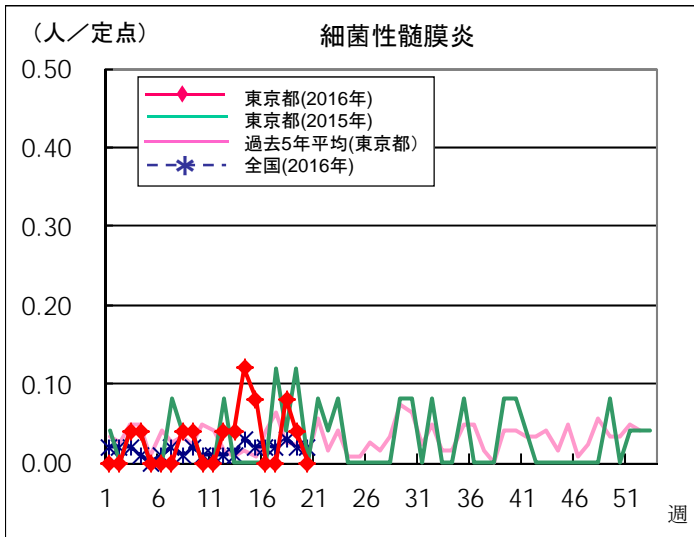
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
4/14	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルス
4/15	不明発しん症	1	咽頭拭い液	麻しんウイルスA型
4/18	RSウイルス感染症	10M	咽頭拭い液	RSウイルス
4/21	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
4/23	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルスG II

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年17週	1			11
2015-2016年 シーズン累計*	159		24	171

* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2016年			
	14週	15週	16週	17週
アデノウイルス	1	1		
コクサッキーウイルスA群				
コクサッキーウイルスB群				
エコーウイルス				
エンテロウイルス71				
その他のエンテロウイルス				
ライノウイルス	3			
単純ヘルペスウイルス				
水痘・帯状疱疹ウイルス		1		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2	2		
EBウイルス	1			
サイトメガロウイルス				
ムンプスウイルス	4			
麻疹ウイルス				
麻疹A型(ワクチンタイプ)			1	
風疹ウイルス				
ヒトパルボウイルスB19				
RSウイルス			2	
ノロウイルス		1	2	1
ロタウイルス		4		
サポウイルス				
インフルエンザウイルスAH1亜型				
インフルエンザウイルスAH3亜型				
インフルエンザウイルスB型	11	13	16	11
インフルエンザウイルスAH1pdm09	4	2	2	1
デングウイルス				
その他のウイルス				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1	
A群溶血性レンサ球菌T-3型	1		2	
A群溶血性レンサ球菌T-4型	1	2		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1	1
A群溶血性レンサ球菌T-25型				
A群溶血性レンサ球菌T-28型				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		1	1	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1	
百日咳菌				
肺炎マイコプラズマ				
肺炎クラミジア				
髄膜炎菌				
B群レンサ球菌				
肺炎球菌				
インフルエンザ菌				
黄色ブドウ球菌				
大腸菌				
その他の細菌				
その他の病原体				

※病原体サーベランスによる検体搬入方法の変更に伴い、14～17週検出情報のみ掲載しています。
10～13週までの検出情報は16週週報にてご確認ください。

病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年14週～2016年17週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	2	13	13	2	1	1	3		1	7		11	60	6			1	6	1	
アデノウイルス														1	1						
コクサッキーウイルスA群																					
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス														2	1						
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					1																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								2					2								
EBウイルス											1										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											4										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)													1								
風疹ウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	2																				
ノロウイルス				4																	
ロタウイルス				4																	
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型																					
インフルエンザウイルスB型														49	2						
インフルエンザウイルスAH1pdm09														9							
デングウイルス																					
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型			3																		
A群溶血性レンサ球菌T-4型			3																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																		
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

※病原体サーベランスによる検体搬入方法の変更に伴い、14～17週検出情報のみ掲載しています。10～13週までの検出情報は16週週報にてご確認ください。